

# 黒木西

黒木西小  
学校だより

文書:校長 齋藤英義  
令和4年4月12日(火)

NO.25



キーワードは “

考えをつくる”



新型コロナウイルス  
感染者数がなかなか  
減少しない中、令和4  
年度新学期スタートと  
なりました。  
本年度の職員の異動は、左  
記のようになっております。

【退職・転出職員】  
お世話になりました。

※丸数字は 本校勤務年数

- 井上章教頭先生②…上妻小八
- 中村紀美子先生②…忠見小八
- 久保山 憲先生③…長峰小八
- 江崎 由季先生①…八幡小八

【本年度の転入職員】  
よろしく願います。

- 鍋島栄作教頭…本校主幹より
- 内藤典子主幹…忠見小より
- 下川大祐先生…黒木小より



さて本年度、『自分の考えをつくる子ども』の育成』  
を本校重点目標として掲げスタートしました。

キーワードは、「**考えをつくる**」です。  
これからの社会を生きていくために、子ども  
たちに必要な力は、答えが一つではない問題に  
も立ち向かえる、自分で考えをつくる力(思考  
力)だと言えます。

「考える」というと、「頭をつかうこと」「なん  
だろうって思うこと」「どうしたらいいかわから  
ないことをわかるようにすること」というよう  
に考えるのが普通だと思えます。

ただ、どうやって自ら答えを出していくのか。  
単に「考える」というのではなく、「考える」  
ということが、わかりやすく指導していくこと  
が大切になってきます。

つまり、頭の中にある情報を整理して、紙に  
書いて深め、まとめる力をつけていくための指  
導が必要になってきます。

具体的には、「物事を様々  
な角度から見ると」「考  
えをまとめる力」「人に自分の  
意見を説明できる力」など  
の能力を伸ばし、自分で考  
えるための方法を身につけ  
させることが大切になっ  
てきます。



そこで、学校生活の中で、  
考えるための方法、つまり「比較する」「分類す  
る」「多面的に見る」「構造化する」「理由付け  
る」「関連付ける」「順序立てる」等のポイント  
を、しっかりと学年に応じて指導していくこと  
が必要になってきます。

同時に、日常的に子どもたちの思考力を育てるた  
めに、ご家庭での子どもたちと接していただく中  
で意識していただきたい3つのポイントがあり  
ますので、ご紹介します。

正解はひとつではないことを理解する

普段から「考え方や答えは無数にある」と  
いうことを、おうちの方もしっかり理解してい  
ただくことが大切です。従来の国語や算数、  
理科、社会といった学校の教科のテストなら、  
答えはひとつ。でも、普段の暮らしの中で問題  
が降りかかったとき、それを解決するにはいろ  
んなアプローチがあり、それらがすべて答えと  
なり得ます。どんな答えも間違いではないと  
わかることで、臆することなく自分の意見を  
言えるような心の育ちにもつながります。

たくさん言葉に触れて言語環境を整える

なにかを考えて発表するためには、さまざ  
まな言葉が必要になります。語彙を増やすこ  
とが重要です。語彙を増やすには、読書と、そ  
して、会話です。日常的に本を読んだり会話  
をしたりすることで語彙を増やし、考えや気  
持ちを「自分の言葉」で表現する力を育て  
ます。

疑問を投げかけて自分で考えさせる

いつも正解を言ってしまうのではなく、「ど  
うしてそうなると思う?」「どうしたらいいか  
な?」と聞いて答えを考えさせる訓練をする  
ことは、考える癖をつけるのに役立ちます。正  
解に早くたどり着かせるのではなく、悩む時  
間をつくることで思考力を育てます。

学校、家庭で子どもの**考えをつくる力**をつけて  
いきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお  
願います。

## 二十四の瞳が仲間入り



先日8日(金)、入学式が  
行われ、12名の新一年生を  
迎えました。昨年度同様、  
縮小短縮での実施となり  
ましたが、全員しっかりと  
した姿勢で話を聞いたり、  
緊張の中で反応したりと、  
立派な式を行うことがで  
きました。

小さな椅子にちよこんと  
座った12名の子もたちを  
見ていたら、70年ほど前の  
小説「二十四の瞳」が頭を  
よぎりました。ご存じのよう  
に、小学校に赴任した  
ばかりの女性の先生と、個  
性豊かな12名の教え子  
たちによる、人情味あふ  
れる物語です。

今年度、この二十四の瞳  
を含む、二百二十二の  
瞳(全校児童11名)とも  
に、どんな物語がつづら  
れていくんだろうかとワ  
クワクワしております。

新型コロナウイルスで、予  
断を許さない日々が続  
くとは思いますが、子ど  
もたちの安全を第一に考  
えて職員一同がんばって  
いきますので、保護者の  
皆様、地域の皆様、本年  
度もよろしく願います。